

\*この実物大の型紙は、A4サイズで印刷したときに実物大（等倍・100%）になるように作成してあります。

\*印刷用紙はA4サイズを使用し、「縮小/拡大」を「実際のサイズ」または「100%の大きさ」に設定して印刷してください。

\*印刷したら、実物大に印刷できたかの確認をしてください。右下に、10 cmの線が書いてあります。

この線に定規を当て、10 cmになっていれば実物大（等倍・100%）に印刷されています。

\*設定が難しく、実物大に印刷できなかった場合は、コピー機能の拡大縮小を使って実物大にしてください。

実物大にするための縮小・拡大率は、「10 cm ÷（定規で測った線の長さ）」です。

たとえば、10 cmの線が9.6 cmで印刷された場合の拡大率は、約104%です

(10 cm ÷ 9.6 cm = 1.041... = 約104%)。

\*実物大の型紙が、紙のサイズよりも大きいため、2枚に分割されています。

突き合せの記号（) どうしをつなぎ、型紙を完成させて使用してください。

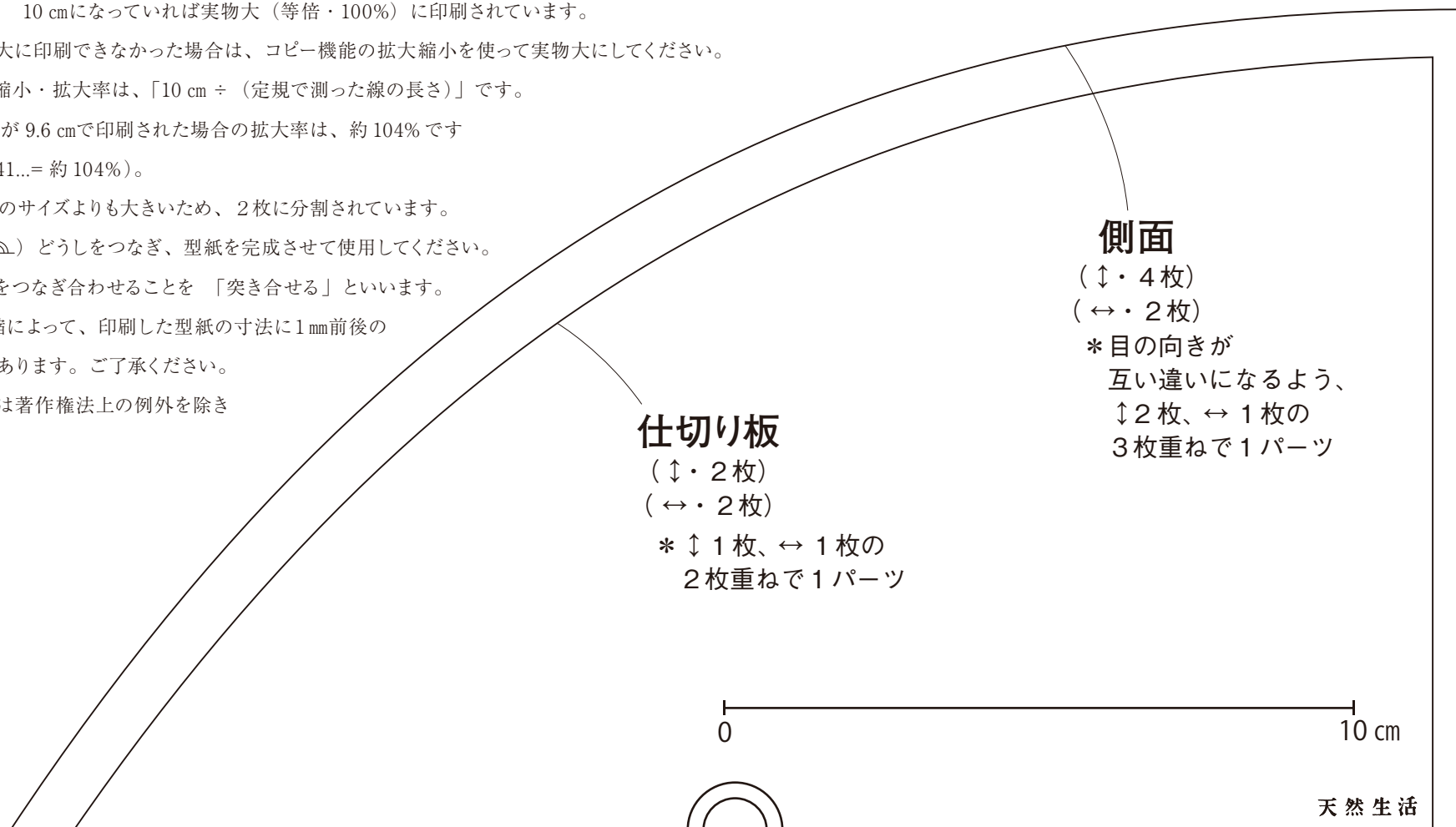
この分割された型紙をつなぎ合わせることを「突き合わせる」といいます。

\*プリンターや紙の伸縮によって、印刷した型紙の寸法に1 mm前後の

誤差が生じる場合があります。ご了承ください。

\*この型紙の無断複製は著作権法上の例外を除き

禁じられています。



### 側面

(↓・4枚)

(↔・2枚)

\*目の向きが

互い違いになるよう、

↓2枚、↔1枚の

3枚重ねで1パーツ

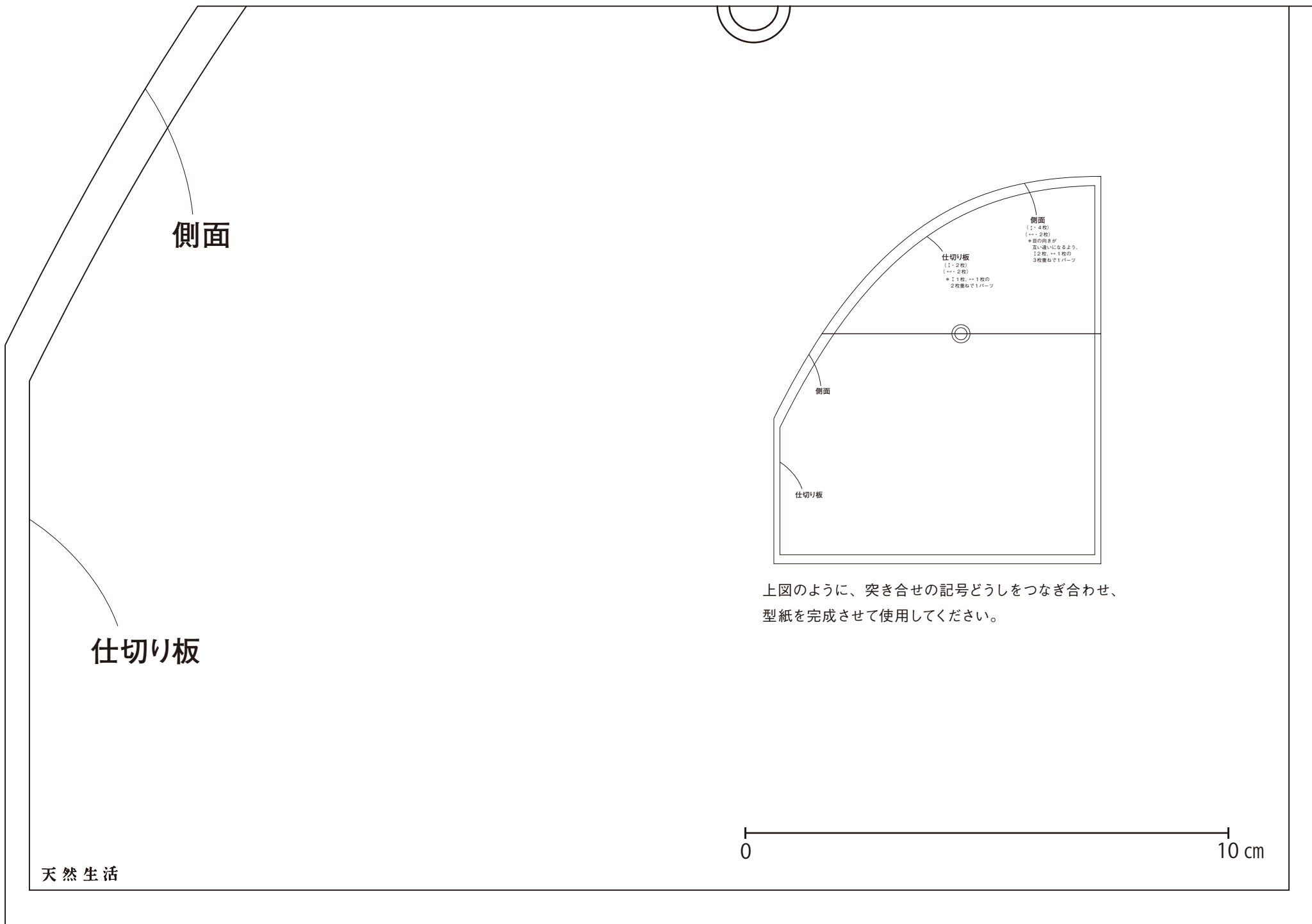
### 仕切り板

(↓・2枚)

(↔・2枚)

\* ↓1枚、↔1枚の

2枚重ねで1パーツ



側面

仕切り板

側面  
(1・4枚)  
(→・2枚)  
※取付向きが  
互い違いになるよう、  
1・2枚、→・1枚の  
3枚重ねで1パーツ

仕切り板  
(1・2枚)  
(→・2枚)  
※1・1枚、→・1枚の  
2枚重ねで1パーツ

上図のように、突き合せの記号どうしをつなぎ合わせ、  
型紙を完成させて使用してください。

0 10 cm